

令和6年度「地域と学校の連携・協働体制構築事業」実績報告関係様式

●R6年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

実施自治体名	課題の類型1	課題の類型2	背景・現状・課題の詳細	これまでの取組状況	左記課題の解決のために令和6年度に実施する具体的な取組	本事業で達成する目標（アウトカム）	目標の達成度を測る指標	現状の数	単位	本年度の目標値	本年度の実績値	アウトカムの達成度に関する評価・分析（事業における成果、課題、改善点等）
南牧村	①学校運営上の課題	02 社会にかかれた教育課程への対応	本村に赴任する教職員はへき地派遣、へき地誓約のため、3年経過後異動となり、本村の目指す「ふるさと南牧を愛し、豊かな人間性をもった子供」に教職員全体で継続的に取り組むことが難しい。	令和6年度義務教育学校開校に向け、教育課程編成委員会を組織し、「ふるさと学習カリキュラム」案を作成した。	「総合」「社会」「技術」など、実生活に結びついた教科を中心に、教科横断的なカリキュラムの作成し、地域の人材を計画的に活用する。	義務教育9年間を見通した「ふるさと学習カリキュラム」を構築する。	「総合」「社会」「技術」の地域資源を活用したカリキュラムを作成する。	50	%	100	100	03 本年度の目標値を達成し、課題の改善が見られた。 「総合的な学習の時間」におけるふるさと学習を「NANMOKU学」とし、地域資源（ヒト・モノ・コト）を活用した全体計画を作成し、学習に取り組むことができた。しかし、NANMOKU学の具体的な取組内容や9年間を通して身に付けたい力などを明確にする必要があると感じた。